

山行報告書

| | | | |
|--------|---|-----|--------------------|
| 日時 | 2015年 12月5日(土)～6日(日) | 天候 | 両日共に曇り時々晴れ |
| 山名 | 国東の山(両子山・千燈岳) | | |
| CL | 秋山 | 参加者 | 吉永、阿部、高藤、坂本 (総勢5名) |
| (コース) | <p>12/5(土)</p> <p>春日原7:00=太宰府IC=基山PA=安岐IC=9:10両子寺9:30・・・お山巡り・・・11:20両子山(721m)11:58・・・12:20両子寺=杵築市内散策&買い物=16:10横岳自然公園キャンプ場(横岳荘)</p> <p>12/6(日)</p> <p>横岳荘8:15=8:45千燈バス停傍駐車場8:56・・・旧千燈寺跡・・・不動茶屋・・・10:35五辻不動尊(不動山)・・・12:02千燈岳(616m)12:35・・・13:20赤根登山口・・・14:00=駐車場=国見温泉あかねの里=文殊仙寺=道の駅にさき=中野酒造=杵築IC=基山SA=太宰府IC=19:00春日原</p> | | |
| (コメント) | <p>2013年の中山仙境<日帰り>、2014年の津和戸山、田原山(鋸山)<香々地青少年の家泊>に続き今年は第3弾として両子山と千燈岳に観光をセットしてみた。</p> <p>国東半島は奈良時代、宇佐神宮の神宮寺である弥勒寺から僧侶が修行をするために来た場所で国東半島最高峰の両子山を中心に放射状に延びる谷筋に沿って6つの郷に分かれた寺々を総称して「六郷満山」と呼び、神を仏とし、仏を神とする神仏習合の文化が開花している場所だそうで、少し開けた海岸部を除き車窓から眺める山に囲まれた集落はどこも同じようであり、時代を超えた不思議な印象を受けた。</p> <p>12/5(土):六郷満山の総持院である両子寺の駐車場を後に、スタートの無明橋まで戻り石像の仁王像を見てから300円の拝観料を払い奥の院を目指す。奥の院傍からは禁止標識はあるが「お山巡り」のコースを進み百体観音、針の耳を過ぎると虎ロープが無ければ登れない程の急坂を超えて尾根に出ると、程なく山頂に達した。強風の為山頂を避けて昼食とし下山したが、両子寺に続くこの道は山頂まで車も通れる舗装道路で登りにとらずに正解であった。下山後はもう一つの楽しみの中野市内観光。九州の小京都といわれるようだが坂の道と武家屋敷がお勧めのコースを2時間程散策を楽しんだ後、酒蔵で地酒を、スーパーで太刀魚と地鶏の刺身と鍋材料を求めた。今宵の宿とした杵築市営の横岳公園キャンプ場はバンガロー5人用1棟が6,480円で持参が必要なのは食材と調味料だけというだけあってテレビ、冷蔵庫付。布団に炬燵、ファンヒーターまで揃い、管理棟で風呂にも入れる。季節外れとのことで宿泊者は近郊のライダー3人組のテント泊者のみ。係員も公営施設に似合わずとても親切で国東半島一押しです。</p> <p>12/6(日):不動口登山口のある千燈バス停傍の駐車場から旧千燈寺跡を通り、無人の休憩所で一休みした後、不動山(岩)のある五辻不動尊を覗いて千燈岳へ向かう。林道を横切ると歩き難い杉林の急坂が続くが一登りで千燈岳の山頂。昼食後に下った赤根登山口への道は階段状の手入れがなされ歩き易い。林道を暫く歩くと登山口の県道に出、残りの紅葉を愛でながら県道に戻った。その後「三人寄りば文殊の知恵」の日本三大文殊寺のひとつである文殊仙寺観光と昨日探せなかった「姫だこ天」を買い求め、昨日の酒蔵に立ち寄り再度「智恵美人」を求めた後漸く帰路についた。</p> <p>国東は山と観光を組み合わせると更にその良さが楽しめると思います。(記:秋山)</p> | | |
| 費用概算 | <p>(交通費) 約4,000円/人(車両提供者以外)</p> <p>(その他) 食材・ツマミ:約1,400円/人 宿:約1,300円/人 両子寺:300円/人 国見温泉あかねの湯・入浴料:400円/人</p> | | |



両子寺・仁王像



杵築市内観光



横岳公園バンガロー



千燈岳